

## 伝える技術の活用セミナー第2弾～動画・配信編受講報告

### 1. はじめに

表題の内容のセミナーをWEB受講したのでその報告です。二つのパートがあります。

#### パート1:「ジャンル別！動画撮影・おさえるべきポイント」

講演者：一條 肇 氏（東北大学 事業支援機構総合技術部 技術専門員）

#### パート2:「時代に乗り遅れない！動画投稿・オンライン配信講座」

講演者：奥村 由香 氏（大阪大学 産業科学研究所 技術室 情報・広報係長）

興味深く、役に立つ内容ですので、内容は絞りますが、紹介します。

### 2. 「ジャンル別！動画撮影・おさえるべきポイント」

2.1 職員が作成する動画ジャンルとポイントは以下です。

研修動画	<ul style="list-style-type: none"><li>・内容や対象を明確にする。 (講義、実習、マニュアル、論文)</li><li>・まず研修全体の流れが分かる状態を保存する。 (引いて撮る)</li><li>・全体、人/機器寄り、説明スライド、ナレーションを使い分ける。</li></ul>	内製
イベント動画	<ul style="list-style-type: none"><li>・内容や対象を明確にする。(記録 or 広告)</li><li>・取り直しができないので、 全体と寄りのカメラを用意する。</li><li>・個別カットを、ストーリーを明確に入れる。</li><li>・参加者の許可取りを忘れない。</li></ul>	業者 or 内製
インタビュー動画	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人で作業しない(撮影とインタビューは複数で)</li><li>・背景や配置、撮る向きは決めておく</li><li>・全体と寄りのシーンを使い分ける (表情や手元のアップ)</li><li>・話声の強弱を合わせるのは特に難しい</li></ul>	内製

機器等の紹介動画	カメラを固定して、一連の流れを撮っておく 個別のシーンは複数の方向から撮る 寄りのシーンの使い分けに注意する BGM、ナレーションはあとから入れる。	業者
----------	---	----

\* 業者か内製かは、講演者のケースとのことで、予算に左右されそうです。

## 2.2 失敗に対する対応

ピンボケ、手ブレ、被写体ブレ、白とび、黒つぶれ、モアレ、フレア・ゴースト等の失敗がありますが、対応は、以下とのことです。

### とにかくカメラを安定させる

- ・三脚を使用する。(水平・垂直)
- ・ない時は、脇を締め、両手でカメラを安定させること(体ごと固定する)
- ・慣れるまで、カメラを動かさず撮影する。複数パターン取り、編集で複数カットを繋げる。

### 人工的ライティング

- ・LED ライト
- ・パネルライト(全体に)
- ・レフ板
- ・トレーシングペーパー・ディフューザー(減光して柔らかい光にする)

### その他

- ・1シーンの目安は、動かない被写体で5秒程度
- ・撮影前、撮影後の3秒間は、カメラ撮影しておく
- ・場面のつなぎの素材を撮っておく(小物、看板、部屋全景、建物等)
- ・とりあえず バンバン撮り、保存しとくこと

以上です。

### 3 「時代に乗り遅れない！動画投稿・オンライン配信講座」

以下の3項目のお話でした。

#### 3.1 YouTube 動画をUPしよう

この項は、詳しい解説がありましたが、解説記事は、書籍、ネットに多数あるので、省略します。

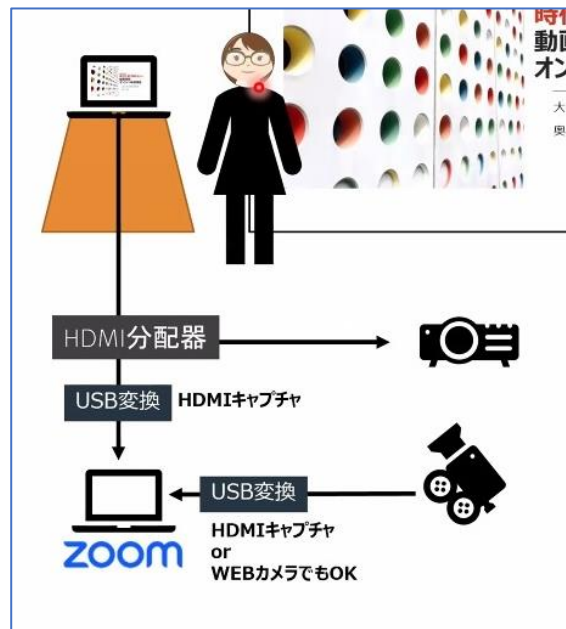
#### 3.2 全公開はしたくない ローカルサーバで動画を公開

動画を実装するHTMLファイルを作成して、ローカルサーバにアクセスして見る方法です。<video src = "video.mp4" src,control,poster></video> のコードで作れます。mp4のファイル容量が大きくなりますが、YouTube経由ですと、広告が入るのでこのウザサは解消できるかもしれません。ローカルにNASがあれば、ここに保存してはと思います。

#### 3.3 ZOOM 配信のひと工夫

右図の構成ですが、  
オンサイトで受講される方への配慮かと思いました。  
会場の表示は、講演者のPCそのもので、ZOOMの画面共用ではありません。  
また別のカメラで講演者を撮影して、オンラインの受講者には講演者を見せているようです。

事前チェックリスト、OBSの紹介もありました。



以上です。